

■大人も子どもも 共に地域で学びましょう

(南笠東学区地域協働合校推進委員会)

1 【活動の趣旨】

地域・学校・家庭の三者が互いに協力・協働することにより、「子どもたちが健全に育つまち」「人が輝くまち」となることを目指す。

2 【特徴的な活動内容】

○「夏休み子どものつどい」

夏休み中の子どもの居場所づくりを目的とし、地元企業から提供していただいたダンボールを使って、巨大ダンボール迷路を作って遊んだ。図面も無く、自由な発想でみんなと協力しながら組み立てていった。

普段できない大掛かりな製作活動を通じて発想力を養うことができた。

8月5日(月)、6日(火) 延べ子ども38名、大人7名



【出来上がったダンボール迷路】

○わんぱくプラザ南笠東「もちつき大会」

日本の伝統文化を体験する機会として、もちつき大会を開催した。初めて体験する児童は、きねの持ち方や餅のつき方を地域の方に教えてもらった。また、つきたてのお餅はとてもやわらかくて美味しいと感想をもらった。地域の方との交流を持つ貴重な体験ができた。

12月14日(土) 参加者：児童35名、大人20名



【もちつき大会の様子】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・巨大ダンボール迷路の作成は、ボランティアの申出があった地域の方に御指導をいただいた。
- ・インフルエンザなどの感染予防対策をしたうえで実施した。事故防止の点では、火元には大人がつく、餅つきのきねが当たらないように等見守りをおこなった。

4 【事業の成果】

- ・イベントを通して、学区在住の児童と、地域団体やセンターボランティア等の皆さんとの交流を図ることができた。また、新しいボランティアの方も参加された。
- ・もちつきの由来を知り日本の伝統文化を体験することができた。
- ・自宅や一人ではできない大きな制作物を、協力して作り上げることができた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・子どもだけでなく、保護者の方にも子どもと一緒に参加いただける企画を考えていきたいがニーズがわからない。
- ・地域やセンターボランティアの方も高齢化してきているなか、新しく協力していただける方を探していきたい。